

(寄稿)

医療環境の変化と組織の活性化に対応するための病院マネジメント

～福井県済生会病院における ISO9001 & BSC & Six Sigma の取り組み～

昨今、医療機関は、厳しい競争環境にさらされており、競争を勝ち抜く為の戦略が必要であるという話をよく耳にされると思います。しかし、実際に経営戦略を立てようとしても、何から始めてよいのか分からないことも多いのが実情ではないでしょうか。また、経営戦略の立案には非常に多くのファクターが絡み合い、多くの専門家を抱える医療機関にとっては、課題収集だけでも一苦労されると思います。これらの情報の可視化や課題整理には Five Forces 分析(ハーバード大学の M. E. ポーター教授により提唱)やプロダクト・ポートフォリオ・マネジメント(ボストン コンサルティング グループ(BCG)が 1970 年代初めに提唱)などの分析手法が有効です。

今回のヘルスケアノートでは、BSC や Six Sigma などの活用事例を取り上げ、福井県済生会病院 経営企画課の齋藤哲哉氏に寄稿頂きました。福井県済生会病院では、独自のマネジメントシステム(SQM ; Saiseikai Quality Management System)を確立し、職場内コミュニケーションを強みとした病院経営を実践されています。

今後の厳しい経営環境を乗り切る為の「分析ツール(現状分析) マネジメントツール(実践・管理)」活用方法のヒントが得られる内容となっております。

本レポートと寄稿の骨子

1. はじめに

～マネジメントツールの活用のすすめ～

2. (寄稿) 医療環境の変化と組織の活性化に対応するための病院マネジメント

～福井県済生会病院における ISO9001 & BSC & Six Sigma の取り組み～

- 1) 厳しい医療環境の実態
- 2) SQM(Saiseikai Quality Management system)について
- 3) 働きがいのある職場をつくるプロセス

2007年11月27日

Healthcare note
(No.07-33)

野村ヘルスケア・
サポート&アドバイザー

市川 剛志
(編集主幹)

寄稿者名:

社会福祉法人 恩賜財団
済生会支部
福井県済生会病院
経営企画課
課長 齋藤 哲哉